

特開平10-145687

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月29日

(51) Int.Cl.⁶ 識別記号H 0 4 N 5/44
1/32
7/025
7/03
7/035

F I

H 0 4 N 5/44 A
1/32 L
7/08 A

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-300398

(22) 出願日 平成8年(1996)11月12日

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 近藤 哲二郎

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

(72) 発明者 野出 泰史

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

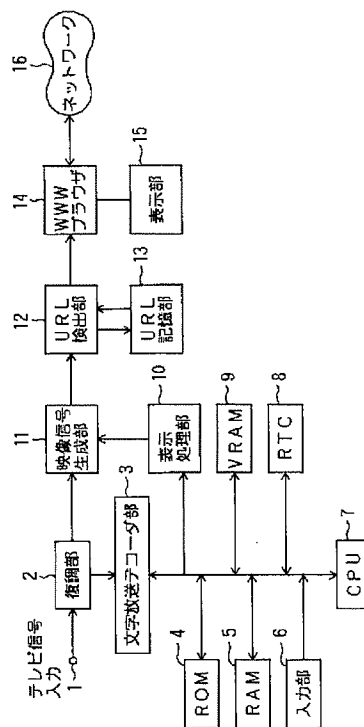
(54) 【発明の名称】 ネットワーク接続装置

(57) 【要約】

【課題】 放送番組等で得たURLを自動的に登録しインターネットに容易にアクセスすることを可能とするネットワーク接続装置を提供する。

【解決手段】 ネットワーク接続手段、映像信号手段、映像信号生成手段、前記映像信号生成手段から入力された映像からネットワークアドレス情報を抽出する文字列抽出認識手段、及び、ネットワークアドレス情報を解析し接続するネットワークを選択しアクセスするネットワークアクセス手段とを有するネットワーク接続装置を提供する。

【効果】 画面の文字や文字放送からの文字情報からURLを抽出し、WWWブラウザを起動、登録するため、利用者は放送で紹介されたURLを容易に見ることが可能となる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワーク接続手段と、
映像信号手段と、
映像信号生成手段と、
前記映像信号生成手段から入力された映像からネットワークアドレス情報を抽出する文字列抽出認識手段と、
前記ネットワークアドレス情報を解析し接続するネットワークを選択しアクセスするネットワークアクセス手段とを有することを特徴とするネットワーク接続装置。

【請求項2】 請求項1記載のネットワーク接続装置であって、
前記ネットワークアドレス情報はhttp(Hyper Text Transfer Protocol)情報であることを特徴とするネットワーク接続装置。

【請求項3】 請求項1記載のネットワーク接続装置であって、
前記ネットワークアクセス手段は、接続の可否を利用者からの指示に基づいて決定する機能を有することを特徴とするネットワーク接続装置。

【請求項4】 請求項1記載のネットワーク接続装置であって、
更にネットワークアドレス情報記憶手段を有し、
前記ネットワークアクセス手段は、前記ネットワークアドレス情報記憶手段に記憶されたネットワークアドレス情報に基づいて接続するネットワークを選択する機能を有することを特徴とするネットワーク接続装置。

【請求項5】 請求項1記載のネットワーク接続装置であって、
更に、文字放送デコード手段を有することを特徴とするネットワーク接続装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、放送受信装置及びネットワーク接続装置に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットと放送は、これまで独自の分野で独自に発展を遂げてきたが、近年における情報通信技術の進歩発展に伴い両者の相互関係が密接になってきた。例えば、放送番組中に、画面上や文字放送でインターネット上のアドレス情報（以下、「URL」という。）の紹介や番組用URLでの番組紹介、アンケートの受付等が頻繁に行われるようになってきている。（日経パソコン1996年3月25日号第218頁～223頁参照。）

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来は、URLを基にインターネットにアクセスする場合、インターネットアクセス用のソフトウェア（以下、「WWWブラウザ」という。）を使用し、アクセスしたいURLを登録する必要があった。そのため、インターネットの利用

者は、まず、放送番組等で知ったURLを紙にメモし、WWWブラウザを起動し、更に、メモしたURLを手作業で登録するという煩雑な手続を経る必要があった。

【0004】本発明の課題は、放送番組等で得たURLを自動的に登録しインターネットに容易にアクセスすることを可能とするネットワーク接続装置を提供することである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明のネットワーク接続装置は、ネットワーク接続手段、映像信号手段、映像信号生成手段、前記映像信号生成手段から入力された映像からネットワークアドレス情報を抽出する文字列抽出認識手段、及び、ネットワークアドレス情報を解析し接続するネットワークを選択しアクセスするネットワークアクセス手段とを有することを特徴とする。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図面を参照して具体的に説明する。図1は、本発明の好ましい実施の形態を示すブロック図である。

【0007】図1において、入力端子1にはチューナ部で受信され選局されたテレビ信号が入力されており、同入力を受調部2で復調し、一方を映像信号生成部11に輸入し、他方を文字放送デコーダ部3に輸入する。文字放送デコーダ部3では、復調されたテレビ信号に重畳されている文字放送信号を分離し復号する。CPU7の制御バスラインにより、文字放送デコーダ部3、CPU7の制御プログラムを記憶しているROM4、予約登録のデータを記憶させるRAM5、予約登録のデータ等を入力する入力部6、表示時刻及び表示時間を管理するRTC(リアルタイムIC)8、復号された文字放送信号を記憶させるVRAM9及び復号された文字放送信号を表示信号に変換する表示処理部10の各々と接続しており、バスラインを通じてデータの入出力を制御する。

【0008】また、CPU7或いは別途設けた制御手段でチューナ部を制御して、希望するチャンネルの文字放送を受信できるようにし、文字放送デコーダ部3で復号された文字放送信号は、CPU7の制御によりVRAM10に書き込んで一旦記憶させ、読み出して表示処理部10に輸入し、表示処理部10で表示信号に変換して、映像信号生成部11に輸入する。

【0009】映像信号生成部11では、テレビの映像信号、或いは、テレビの映像信号に文字放送信号を重ねた映像信号を生成する。映像信号生成部11で生成された映像信号はURL検出部12に輸入される。

【0010】URL検出部12において、入力された映像信号から、文字認識によって文字列“http://”のキーワードを検出する。キーワードが検出されると、その後続く“www.sony.co.jp/”等のアドレスをURL記憶部13に記憶するとともに、

1…入力端子、2…復調部、3…文字放送デコーダ部、
4…ROM、5…RAM、6…入力部、7…CPU、8
…RTC、9…VRAM、10…表示処理部、11…映
像信号生成部、12…URL検出部、13…URL記憶
部、14…WWWブラウザ、15…表示部、16…ネッ
トワーク

```

graph LR
    1[テレビ信号入力] --> 2[復調部]
    2 --> 11[映像信号生成部]
    2 --> 3[文字放送デコーダ部]
    3 --> 10[表示処理部]
    4[ROM] --> 7[CPU]
    5[RAM] --> 7
    6[入力部] --> 7
    7 --> 3
    7 --> 10
    7 --> 9[VRAM]
    7 --> 8[RTC]
    11 --> 12[URL検出部]
    12 --> 13[URL記憶部]
    12 --> 14[WWWブラウザ]
    13 --> 12
    14 --> 15[表示部]
    14 <--> 16[ネットワーク]
    10 --> 15
  
```